

# うたしない 市議会だより

## 第35号

歌志内市議会  
議会報編集委員会

発行年月日 平成26年5月1日



## 議会の動き

### 定例会の開催

3月11日～24日までの14日間定例会が開催されました。

11日及び12日は、定期監査及び財政援助団体等監査結果報告を始め、各会計補正予算などの議案25件が審議されました。

13日、14日、17日の3日間は一般質問、18日～20日までの3日間は条例・予算等審査特別委員会に付託された、平成26年度各会計予算、歌志内市定住促進条例の制定についてなどの議案9件について審議されました。

最終日24日は、委員会に付

託された議案と追加議案1件及び意見書3件が審議され可決となり閉会しました。



## 平成26年 第1回定例会 3月開催

### もくじ

- 一般質問 …… 2～5 P
- 委員会報告 …… 5 P
- 可決された意見書 …… 6 P
- コラムその他 …… 6 P



本田 加津子

一 市政執行方針について

「市民と協働で創るまち」

基礎自治体としての役割を十分認識し、真に必要とする市民サービスの向上と、多様な行政ニーズの把握に努めるなど、より多くの市民との対話を進め、市民主体のまちづくりに取り組みます。とあります。

**問** 真に必要なとする市民サービスの向上と、多様な行政ニーズの把握に努めるために、どのような事に取り組みの、また、より多くの市民との対話を進めるためには、どのような取り組みを実施していくのかお伺いします。

**答** 市民サービスの向上や市民ニーズの把握につきましては、市民主体のまちづくりを進めるため、市民の皆さまと様々な機会を通して多くの対話を重ねることにより、情報を共有していくことが重要と考えております。

このため、各町内会・自治会毎に開催する地区別市政懇談会をはじめ、小中学生や市内で活動する市民団体、グル

ープなど、引き続き開催場所や回数、周知方法などを工夫しながら、より多くの市民との対話を進め、できる限り市民の声を市政に反映させるよう取り組みこととしております。

これらの取り組みは、市政に「いつでも」「だれも」が参加出来るよう、多くの対話の機会を設け、市民の皆さまとの信頼のもと、「人と人とのつながり」を大切にすることを「まちづくり」を進めることが大切であり、これにより連帯感を高めながら市民目線に立った市政の運営に努めてまいります。

二 教育行政執行方針

「社会教育の充実」

家庭の教育力向上と子育て支援及び青少年健全育成の推進

**問** 子育てがしやすい環境づくりや、地域ぐるみの健全育成に努めるために、どのような支援を実施していくお考えかお伺いします。

**答** 子育てがしやすい環境づくりについては、学童保育での生活指導や児童館行事の充

実、子どもの学力向上の観点から子ども書道クラブの開設を引き続き行つてまいります。

地域ぐるみの健全育成については、子ども会育成者連絡協議会の事業や地区補導員による青少年センターの活動など、地域の皆さまにご協力を頂きながら引き続き、子ども達の健全育成に努めてまいります。

**問** 青少年に対して、基本的な生活習慣や社会性を身に付ける取り組みとして宿泊体験や、プロスポーツ観戦を行い、本物を見て夢や憧れを持たせる社会体験を実施しますとありますが、どのような社会体験を実施していくお考えかお伺いします。

**答** 社会体験の実施につきましては、子ども会育成者連絡協議会と連携し、今年度は、北海道日本ハムファイターズの野球観戦を予定しています。

本物を見て、感動や将来に夢、憧れによる豊かな人間性を育んでもらいたいと考えております。



かわの 敏夫

一 平成26年度市政・教育

行政執行方針について

**問** 人口減少対策を重要課題とあるが、それには自然減対策を重視すべきではないか。

**答** 人口減少対策はこれまで重要課題の一つとして企業誘致をはじめ産業の創出による雇用の確保、子育て支援、高齢者対策など幅広い分野で人口減少対策の施策を展開し地域の活性化に結びつける努力を続けてきた。現状高齢化率の高い当市に於いては人口動態調査における自然動態の減少が社会動態を上回る状況にあることから歌志内市健康増進計画に基づき予防対策事業や健康づくり事業を推進し市民の健康寿命延伸に努める。

**問** 平成25年度の地区別市政懇談会、情報交換会小中学生各種団体など、市民との直接対話の中、平成26年度に予算化されるものは何か。

**答** 各町内会・自治会より事前の地域要望や懇談会当日の要望事項などに担当所管より説明と共にすぐに対応出来るものに関しては順次実施し

てきた。地域の市有地の草刈り、空き家の問題、橋の架け替えなど、緊急性を考慮して判断する。小中学生の意見の中からは、大曲団地の防犯灯のLED化を予算反映し今後

も小中学生の提案についてまちづくりの参考にしていく。

**問** 指定管理により運営の観光施設は、毎年多額の支出が続いている。施設の老朽に関しても抜本的な改善が必要ない時期ではないのか。

**答** 指定管理制度により運営しているかもし岳スキー場、かもし岳温泉、道の駅などは施設の老朽化が著しく、今後大規模な改修経費が想定される施設については、利用状況などの推移を見極め実態に即した施設管理を検討する。

**問** チロルの湯のリニューアル後の半年をどう見て今後の市の支援や関わりはどうか。

**答** 株式会社歌志内振興公社からの報告では、リニューアル後の入館・宿泊・宴会・レストランなど各部門において概ね順調に推移している。

市としては、これまで実施している温泉施設利用促進の各事業を継続し市民に親しまれ、求められる施設として魅

# 一般質問

力ある事業計画が図られる様、指導・助言していく。

**問** 堆雪状況を把握しながら適切な除排雪、歩車道の確保とあるが、適切であったか。

**答** 年末から1月に、多くの降雪があり物理的に出来なかつた部分もある。通学路は児童生徒の長靴、脚絆等雪国防備により問題は無かつたと思う。

**問** 災害時の備蓄はどうか。

**答** 平成27年度へ向けた歌志内市防災備蓄計画に基づき現在40%、平成26年末で70%程度と考える。

**問** 幼保一体化の構想はどの程度進んでいるか。

**答** 園舎の老朽化、少子化の現状で新築が困難である事などをふまえ将来的に幼保の連携検討が必要と考えるが現時点で子供の学力体力の維持・向上のために幼稚園教育の推進が必要。こども・子育て関連三法の情報をみて幼保一体化の可能性も検討していく。

**問** 老朽化したプール、体育館の検討は如何か。

**答** 現在プール、体育館は使用の限界と考える教育施設であると同時に重要な公共施設。

今後まちづくりの位置づけとして庁内にて検討する。



梶 敏

## 一 快適でやすらぎのあるまち

**問** 大曲団地内の防犯灯をLED化とし、今後の計画的に進めるとあるが、街路灯を含め計画はあるのか。

**答** 団地内に街路灯はありません。LED化は最初の取り組みです。防犯灯の効果を検証し、街路灯のLED化を実施します。

**問** 「地域防災計画見直し」で、災害時の備蓄体制の構成とは。

**答** ハザードマップを作成し配布し、学校や公民館等の中核避難施設への(計画的備蓄)を行い市民の生命と財産を守る。

**問** 安定的で持続可能な財政運営と人口減少対策は。

**答** 平成24年度は、転入者132人、転出者205人、出生11人、死亡87人で、149人の減少です。

将来の豊かな歌志内づくりに施策一つずつ着実に推進することが重要です。

**二 活力と魅力あふれるまち**  
**問** 住宅建設助成制度の内容の見直しとは。

**答** 住宅の新築や中古住宅を購入し5年以上定住を確保する方に奨励金を交付します。

**三 健康で心あふれるまち**  
**問** 後期高齢者医療制度の被保険者に無料化するとは。

**答** 健康診査の健診料を、従来300円ですが無料化し受診者数を伸ばす。

**問** 国民健康保険では、特定健康健診の受診費用の無料化とは。

**答** 糖尿病等の健康診断で、40歳から74歳を対象に実施で受診率が25%程度であり、無料化し、生活習慣病の予防と疾病の早期発見・治療につなげようとする。

**教育行政執行方針について**  
**問** 図書館と公民館を連携し有効活用し学ぶ環境の充実とは。

**答** 公民館を活用した図書館活動の検討で、ロビーに移動図書館を設け市民皆様から、ご意見をいただく予定。

## その他質問

**問** 川の雑林が成長し枝も大きく伸び雨が降った時心配です。

**答** 河川内の立ち木や堆積土砂は増水の時流れを阻害する。

北海道で2月に文珠行政界から神威の区間で立ち木伐採や土砂除去している。平成26年度も北海道に事業実施の要請している。

**問** 多くの市民や市外の人達が利用する公民館の市道や、郵便局前の道道の街路灯の塗装がはがれ、見苦しいので、対応は市内業者で。

**答** この照明柱は、観光館・郵便局等商店通りでグレードアップ事業として北海道が設置した照明です。市道一条通りは歌志内市が設置した。

調査して北海道と協議し市も対応策を検討していく。



下山 則義

**一 市政執行方針について**  
**問** 市政執行方針の中に、引き続き市民と直接対話する機会を設けるとあるが、各種団体にとどまらず多くの市民と直接対話すると理解します

**答** 市民主体のまちづくり実現のために、多くの皆様と様々な機会を通して対話を重ね、情報を共有しながら、行政ニーズの把握に努める事が、大切と考え各町内会で開催する地区別市政懇談会をはじめ小中学生や市民団体等と引き続き対話を進め、できる限り市民の声を市政に反映させよう、本年も取り組むこととしております。

**問** 「ちよつと暮らし体験推進事業」を実施するとあるが、どの様な内容なのか。

**答** 定住促進の一環として本年度、事業内容を拡大して取り組むものであり、当市へ移住などを検討している方を対象に、冬期間限定から夏場も含めた期間に拡充するとともに、長期滞在用としては、旧



中学校長宅の活用を予定。



問 市立病院の診療体制確立のための、医師の確保について伺います。

答 国の臨床研修医制度の導入に伴い、医師不足は、全道的に大きな問題となっており、当病院もこの影響を受けていますが、北海道大学病院や北海道地域医療連携を密にし、医療体制に支障をきたさないように、振興財団とも連携を密にし、医師確保の強化に向けて一層の努力をしてまいります。

二 教育行政執行

方針について

問 郷土の地域特性を生かし、幼少中一貫教育を推進すると教育行政執行方針にあるが、内容について伺います。

答 当市においては、幼稚園・小学校・中学校がそれぞれ一園一校という状況にあり、この特性を生かし、それぞれが強みに連携・交流することで、子供たちを安定した安全な環境のもと、進学時の問題解決に加え、幼少中が一体となって、地域との連携を行っており、引き続きこれらの取り組みを推進する事としております。

問 分かる授業を追求するとあるが、どの様な内容か。

答 全国学力・学習状況調査の結果をふまえ、どの様な改善策を図るべきかを検証しており、わかる授業を実現するため、少人数・習熟度別指導によるきめ細かな指導を行う一方、決められた字数や時間内で書くこと、朝読書活動を継続して、読む力を高めるといった取り組みにつなげる事としていきます。

問 放課後活動や長期休業を活用し、個に応じたきめ細かな指導と、学習サポートの実施を図るとあるが、どの様な内容か。

答 これまで実施してきた放課後学習サポートの継続を中心とするもので、希望者を対象として実施する予定としていきます。

問 老朽化した市営プール・体育館のあり方を検討するとあるが、どの様な内容か。

答 市営プール、体育館は、教育施設であると同時に、当市の重要な公共施設のため、今後のまちづくりにおける位置づけや必要性など、庁内の検討を通して、方向性を見出していきます。



めぐみ さとし

一 市政執行方針について

問① 昨年は新政権に大きな政策展開を期待していたが、実際はどうだったと感じているか。

答 穏やかではあるが景気回復傾向にあると各界では評価されているが、当市への直接的な影響は少なく、依然、市民の景況感は停滞している。特に、高齢化が進む当市においては、消費税率の引き上げや物価上昇など、市民生活への影響を懸念している。

問② 人口減少対策を最重要課題として、とあるが具体的にどこまで話し合いが進んでいるのか。

答 当市は人口減少対策や、安定的な財産運営の確立など重要課題を多く抱えている。毎年度示している市政執行方針でこれらの課題を少しでも解決し、歌志内の街づくりに結びつけるべく、市民・議員の皆様と多くの対話を重ねながら、情報提供に努め市政運営している。

問 10年位前から話し合われていると駄目ではないか。

答 人口減少対策として色々な政策（企業誘致・子育て支援など）を行って来ているが、それがなかなか結びついていないが、今後も粘り強くやって行く。

問③ 商工会議所との強い連携のもと各種情報提供に努めるとあるが、今まで商工会議所とはきちんと連携をとれていたのか。

答 市内商工業の振興・育成に向け適宜情報交換を行い連携を図ってきている。

問 市と商工会議所と商店の間で10年前からきちんとした話し合いを行わなければ駄目だった。連携が取れていないから街が疲弊したのではないかと。なぜ連携が上手く取れなかったのか、その本質を把握出来ているか。

答 商工会議所会員と行政の間できちんと連携が取れていなかったかもしれない。しかし、ここ1年半位は積極的に行政から議論の場を提供し、話し合いを増やしている。

問④ 歌志内市地域福祉計画は具体的何処まで話しが進んでいるのか伺いたい。

答 地域福祉計画に基づき、進捗委員会を地域に向いた

り、緊急通報装置の更新や、老人家庭除雪事業・除雪経費助成事業、給食宅配サービスの利用者負担軽減を行った。

問 地域福祉計画の中で買い物・通院の移動手段の確保も議論されていると思うが、依然解決されておらず、話し合いが表面化されていない。各地域ごとの問題点は把握しているのか。

答 現状ではそこまでは行っていない。各地域ごとの政策を研究していく。

問 移動手段確保の問題解決に向け、頻りに話しを重ねる事が重要だと思うが。

答 なかなか協議の場が設けられていない。今後は様々な方策を話し合っていく。

問 除雪問題では、除雪が困難になって、転出して行く人もいる。除雪ヘルパー制度の今以上の拡充なども必要だ。市内業者と連携してヘルパー事業の拡充なども考えたのだろうか。

答 各所管とも話し合いが必要だが、出来る範囲の中から拡充して来ている。今後使いやすい方法なども検討して行く。



湯浅 礼子

一 市政執行方針について

問 基礎自治体としての役割を十分認識し、真に必要な市民サービスの向上とあるが、どの様なサービスをめざしているのか。

答 住民が住み慣れた地域に住み続け、「幸せで豊かさを感ずることのできる地域社会を構築すること」が重要であると考えている。

この様な地域社会を築く為、「市民参画」「安定した財政運営」人と人とのつながりを大切にする「協働のまちづくり」を進めることが、市政の基本姿勢であり、「小さくても住んでいて良かったと実感できるまち」を目指すことにあります。

この為、市民の身近な課題は道路や住宅等のインフラ整備、健康や日常生活面、季節や地域の違いにおいても様々な課題があります。

特に、高齢者が多い当市においては、とりわけ冬期間の除排雪は大きな課題で、優先されるべき市民サービスの一つとして取り組んでいます。

問 昨年地区別懇談会などを実施し市民のニーズが把握されたのか伺います。また、最優先される市民のニーズは何か。

答 要望事項のうち、道路の補修など費用や準備が必要なものについては、平成26年度予算に計上し、その他、地域における「市有地の草刈り」「空き家の問題」「橋の架け替え」など市民生活に身近なものも多いため緊急性を考慮し優先度合いを判断しながら対応する事にしてはいる。

また、小中学生との対話の中で、「街灯などのLED化」や「観光施設等のPR方法」などの活性化についてなどの提案がありました。

今回、具体的な予算への反映といたしましては、大曲団地内の防犯灯をLED化する考えです。

再問 シルバーハウジングの建設を是非お願いしたいと言いう市民の声が多数聞かれます。現在色々と検討されていると思うがどうか。

答 地区別懇談会におきましても色々な地域でやはり必要性を訴える方がたくさんお

りました。中には5年間申し込んで当たった人、当たらなかったから今引越していくとの声がありました。住民生活基本計画を26年度で行うことになっておりますが、この中にシルバーハウジングも含めて調査研究するよう所管に指示をしているところです。

再問 建設にかかるとしたらどの位予定しているか。

答 現段階の工事費がどの位かかるのかと言う問題もあります。補助の内容、あるいは起債の内容、市の方がどの位の裏付けを用意できるか、あるいは規模としてどの位のものが最低限必要なのか、この地域に必要なのか、優先順位も含めてこの計画の中で全体像がそれはシルバーハウジングだけでなく、他の住宅政策も含めて行政の全体像が見えてくると思います。その中で地域の皆さん、高齢者の皆さんそして議員の皆さんの意見を頂きながら最終的に精査し、色々なプロセスを組み合わせながら計画をまとめて行きたいと考えています。

平成26年度条例・予算等審査特別委員会

委員長 梶 敏

▽3月18日（1日目）

- ・会計室・監査委員事務局
- ・消防本部・保健福祉課
- ・建設課・議会事務局

▽3月19日（2日目）

- ・市立病院・市民課・産業課・財政課

▽3月20日（3日目）

- ・総務課・選挙管理委員会
- ・教育委員会

以上の日程で審議し、全員一致で認定され、今定例議会にて可決されました。

行政常任委員会報告

委員長 川野 敏夫

▽1月24日開催

- ・福祉医療費助成事業の状況について
- ・交通安全対策推進事業の状況について
- ・給食センターの管理運営状況について
- ・中学校の管理運営状況について

- ・指定管理施設「かもい岳スキー場」及び「かもい岳温泉」の現地視察について

▽2月26日開催

- ・市税・使用料等の収入状況と未収対策について
- ・市有地の貸付及び売却の状況について
- ・遊休市有地の状況について
- ・市営・改良住宅の入居状況及び使用料の徴収状況について

この登り旗は、市議会の元気のシンボルとして、一昨年の冬に各議員の自費で作製しました。冬シーズンはかもい岳に全国・全道各地からスキーヤーが大会等に訪れた時に選手の方々に「歓迎」と「頑張ってください」の願いをこめていきます。

応援してます!!

歌志内市議会



# 議員の力とは!!

議長 山崎 数彦

ほとんどの職業に、研修や育成のしくみがあります。

会社や官庁に入った時のように、初任者研修やさまざまな職場を実際に経験させながら、新人を育成していく職業、また、国家試験などに合格して仕事につける職業、見習いとして相当な期間にわたって修行を積み、一人前にできると認められる職業等、いろいろな研修や育成があります。

## ○議員の研修は

では、議員はどのように育成されていくのでしょうか。

議員の場合には、経験も年齢もさまざまな人が、選挙に立候補して当選することによって、その位置につきます。



議員になってからは、自治体政策、自治体運営のしくみなどについて、知識や議会という場で、物事を決めていくための活動方法についても、しっかりと身につけてもらう必要があります。

しかし実態は、議会事務局の職員から、議会の基本的なしくみや手続などについて、説明を受ける機会がある程度で、あとは個々の議員が、実際に議会活動を行いながら、同僚や先輩議員の活動ぶりを参考にして、自身で議員の活動を身につけていくのが現状です。

## ○議会報告会で

議員力をつけるためには、議員研修会や自らの自己研さんが当然必要ですが、昨年から議会が実施した「議会報告会」は、議員個人ではなく、議会という組織自体の報告会として位置づけられるものであり、議員がきたえられるための方法の一つであります。

議会報告会で、市民の方にわかりやすく説明しようとする、説明担当者は、報告内容について徹底的に勉強し、理解をした上で説明しなければなりません。これも、議員

の研修の場となります。

この様にして議会報告会を始めることが、議会としての説明責任を果たし、個々の議員の政策についての勉強を促し、議会での審議の質を高めることにつながっていきま

## ○市民とのコミュニケーションを大切に

そして、市民とのコミュニケーションの中から、市の政策として取り上げるべき内容のものか、あるいは、単に苦情や相談だけのものかなど、議員は力を試されています。

郷土を愛し歌志内に誇りをもち、向上心を高めていく議員になりたいものです。

私も含め、さらなる学習を重ね、深めていきます。



# 可決された意見書

- 食の安全・安心の確立を求める意見書
- 微小粒子物質(PM2.5)に係る総合的な対策の推進を求める意見書
- 国民健康保険の広域化(都道府県単位化)に反対する意見書

※これら3件の意見書は3月24日に内閣総理大臣、各関係大臣、衆・参議院議長、その他関係機関へ送付されました。

## 一部事務組合議会等

- ▽2月19日 空知中部広域連合議会第1回定例会 山崎議長・原田議員
- ▽2月24日 北海道後期高齢者医療広域連合議会第1回定例会 梶議員
- ▽2月27日 石狩川流域下水道組合議会第1回定例会 本田議員
- ・中空知広域水道企業団議会第1回定例会 山崎議長 女鹿議員
- ・空知教育センター組合議会第1回定例会 下山副議長
- ▽2月28日 中空知広域市町村圏組合議会第1回定例会 山崎議長 湯浅議員
- ・中・北空知廃棄物処理広域連合議会第1回定例会 山崎議長
- ▽3月4日 砂川地区保健衛生組合議会第1回定例会 川野議員

- ▽4月10日 道央支部協議会 山崎議長 下山副議長
- ▽4月24・25日 北海道市議会議長会定期総会 山崎議長・下山副議長

## 編集後記

3月定例会に限り、一般質問の時間を30分多い90分になっている事から今回の議会だよりは、各議員通常の2段から3段で掲載しています。また市長・教育長から出された、市政執行方針と教育行政執行方針に対しての質問が多くなる事から、各議員の質問内容が重複しているものもありますが、その分皆様に議員一人ひとりの質問内容を深く知って頂ける良い機会だと思えます。編集長 めが